外観パース

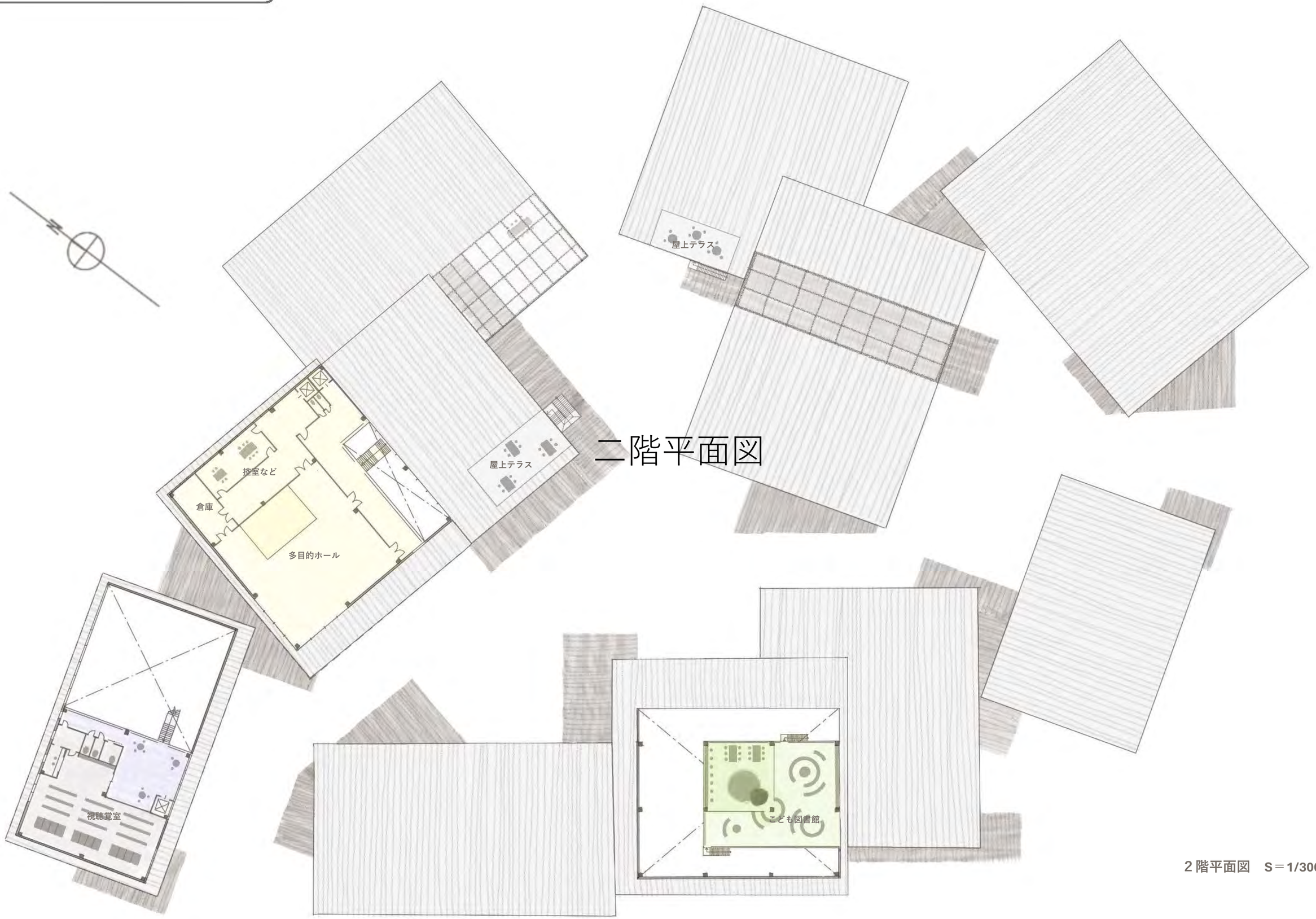
知の庭をあるく

この図書館では、知識は本棚の中だけにとどまらない。
暮らしの中で活かされ、学生と地域をつなぐきっかけとなる。

「あるく」とは、本を探してあるくことではない。
知識に触れ、人と出会い、新たな学びを育む体験そのものがうまれることを目指す。

設計趣旨、コンセプト、計画敷地

08　2階平面図 S=1/300



二階平面図

2階平面図　S＝1/300

01　配置図 S=1/500

02　設計概要

敷地場所：広島市佐伯区三筋３丁目
用途地域：第一種中高層住居地域
防火地域：法 22 条区域
敷地面積：9,073.00 ㎡
建ぺい率：60%以下（角地緩和 70%）
容 積 率：200%以下
道 路：東側 4.6m (都市計画道路 21m)
　　西側 29m (広工大アプローチ道路)
　　南側 12m
　　北側 6m (拡幅後)
□ 建築概要
用 途：大学複合施設（図書館・学生会館）
構 造：鉄骨造
階 数：地下１階，地上２階
建築面積： 5,888.00 ㎡［建ぺい率：64.90 %］
延床面積： 8,160.00 ㎡［容 積 率：89,94 %］

03　計画敷地

敷地は大学のアプローチ上に位置し、学生が日常的に行き交う場所である。

周辺には住宅地や保育園、老人ホームがあり、学生と地域住民の双方が集まりやすい環境であるといえる。

ダイアグラム

大学と地域をゆるやかにつなぐ、新たな交流拠点が求められる。

04 「知」と「人」をつなぐ

大抵、図書館は**一つの建物に知識が集約されている**。人々は、それを探して読むことが目的で図書館に訪れる。

「知識を得る」ことと「人と出会う」こと、つまり**図書館内外を結びつける**ことが重要である。

知識ごとに分棟化し、その間をあるくことで、**新たな知識や人との出会いがうまれる図書館**を提案する。

配置図

配置図　S＝1/500

09　1階平面図 S=1/300

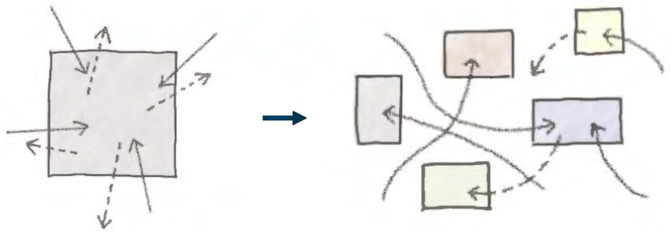
一階平面図

駐車場（16台）
建物計画エリア
道路境界線 27,000
道路境界線 42,500
道路境界線 80,000
駐車場（4台）
開架閲覧（自然科学）
サンルーム
シェアキッチン
園芸の庭
搬入口
バックヤード
駐輪場（25台）
受付
レファレンス
交流ラウンジ
開架閲覧（技術）
開架閲覧（社会科学）
倉庫
受付
マルシェ
開架閲覧（産業）
レクチャールーム
ギャラリー
開架閲覧（芸術）
イベント広場
学習室
駐輪場（25台）
開架閲覧（哲学）
受付
開架閲覧（歴史）
こども図書館
開架閲覧（文学）
開架閲覧（言語）
開架閲覧（総記）
受付
スタッフスペース
A
A'
B
B'
4600
13,200
7,585
3,880
7,000
10,000
10,000
35000
60000

1階平面図　S＝1/300

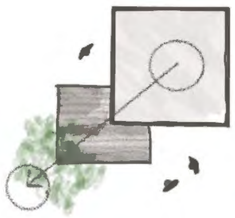
05　「あるく」ということ

目的地がみんな同じだと、動線が交わりにくい。
この複合施設では、たくさんの**知識、人、活動との偶然の出会い**が期待できる。

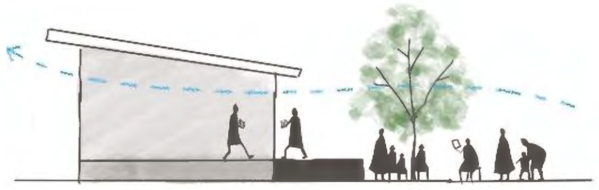


06　図書館のうちとそと

デッキで内部と外部を連続させる。
さらに植物を置くことで、**活動を内部だけでなく外部へと広げる。**



屋根の勾配で、自然な風の通り道をつくる。



07　知識が交わる場所

日本の図書館で広く使われている**NDC（日本十進分類法）**
をもとに、知識ごとの10の図書館にわけている。
あえて**異なる知識の建物を交わらせ**、新たな空間をつくった。

この複合施設で取り組まれる
SDGs

0　総　記　General works
（情報学，図書館，図書，百科事典，一般論文集）

1　哲　学　Philosophy
（哲学，心理学，倫理学，宗教）

2　歴　史　History
（歴史，伝記，地理）

3　社会科学　Social sciences
（政治，法律，経済，統計，社会，教育，国防）

4　自然科学　Natural sciences
（数学，理学，医学）

5　技　術　Technology
（工学，工業，家政学）

6　産　業　Industry
（農林水産業，商業，運輸，通信）

7　芸　術　The arts
（美術，音楽，演劇，スポーツ，諸芸，娯楽）

8　言　語　Language

9　文　学　Literature

マルシェ

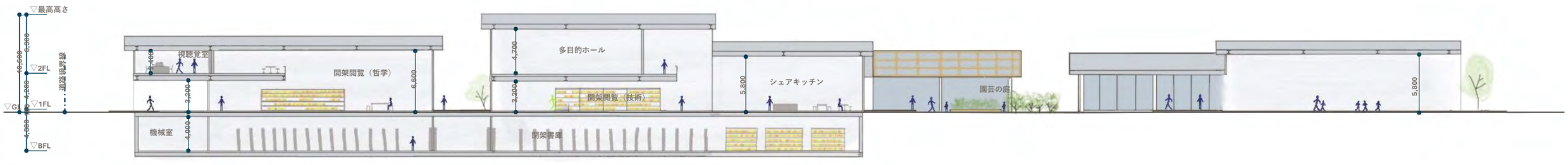
朝市・季節のイベント
キッチンカー

シェアキッチン

菜園・ハーブガーデン
収穫体験・青空食堂

こども図書館

芝生で読み聞かせ
紙芝居・野外朗読会



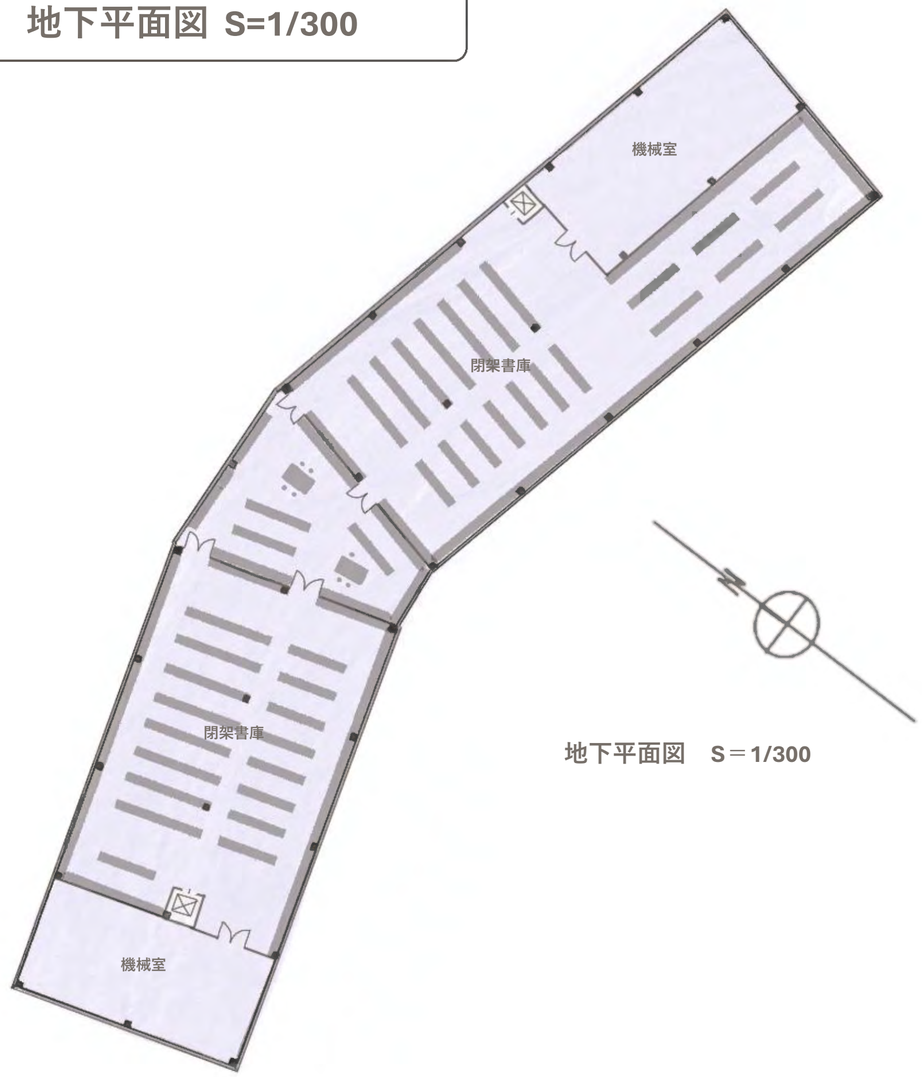
上：A-A’ 断面図　S＝1/300
下：B-B’ 断面図　S＝1/300

天井が高く、ガラス張りで開放感のあるシェアキッチン。
本や飲食を楽しんだり、休憩したりしながら、
「つぎはどの建物に行こうか」とわくわくする時間を過ごす。

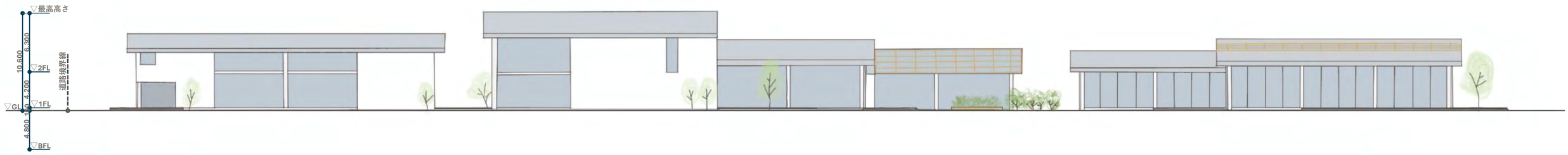
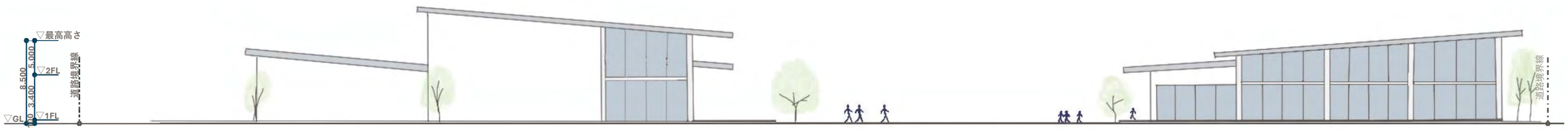
こども図書館は、本棚に囲まれ、小上がりになっている。
少し低めの天井高も、囲まれ感や安心感を生み出している。
親子が一緒に本を楽しむための工夫である。

マルシェと図書館との間にある、長く幅広いウッドデッキの通路。
マルシェの拡大や、古本市などのイベントにも活用できる。
単なる通路ではなく、興味がそそられる空間。

10　地下平面図 S=1/300



地下平面図　S＝1/300



上：東西立面図　S＝1/300
下：南北立面図　S＝1/300